

## 2020年度 自己評価表 YMCA米子医療福祉専門学校

### 1. 学校の教育目標

本校は開校 27 年目となるが、少子化や新設校、競合校などの外的要因および施設の老朽化などの内的要因により、年々学生数が減少している。2020 年度は、中期計画を基に既存学科における課題の分析を行い、学校運営を安定させるための方策を仔細に検討し、方針を明確に打ち出していきたい。

その上で、YMCAの基本理念である「愛と奉仕の精神」を尊重し、人間性豊かで、専門的知識・技術・態度を身に付け、地域に貢献できる人材の養成を行い、伝統校として米子市はもとより、山陰地方になくはならないと認められる学校であることを目指したい。

- 1) 日本YMCA中期計画を推進する。
- 2) 既存学科における課題の分析を行い、今後どのような運営を図るのか検討する。
- 3) 学校経営の基盤となる学生数確保に向けた取り組みの強化に努める。
  - ① 募集戦略委員会を中心に広報の強化を図る。
  - ② 入試改革ならびにオープンキャンパス内容の見直しを行う。
  - ③ 外国人留学生の受入れ準備を進める。
- 4) 教育の質向上を目指した取り組みの強化を行う。
  - ① 丁寧な教育と学生支援を強化して、休学率・退学率の低減を図る。
  - ② 国家試験の合格率の維持・向上を図る。
  - ③ アクティブラーニングをより積極的に取り入れる。
- 5) 経費削減の徹底を図り、収支を維持する。
- 6) 老朽化した備品や施設の更新を計画的に行う。
- 7) 鳥取大学医学部、島根大学との連携を強化し、講師陣の充実をアピールする。
- 8) 公開講座の開催や地域イベントへのボランティア参加などを通して、地域との連携を深める。

### 2. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) 教育理念・目標（馬場）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2
2. 学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
4. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

- ・3 社会経済ニーズは高いと思われるが、PT 科を除き受験者数・入学者数に反映しておらず、求人数に結びついていない。

②今後の改善方策

- ・3 安定的に学校運営を行うために入学者の増加に努めることや、求人数増加のための、具体的な将来構想を検討する。

③特記事項

- ・4 学校の理念、入学者の受入れ方針、卒業認定・称号授与の方針は、学生便覧に記載しホームページに公開した。

(2)学校運営（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
2. 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
3. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
5. 教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④	3	2	1
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
7. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

①課題

- ・2 事業計画は策定しているが、老朽化した備品や施設の更新が進んでいない。

②今後の改善方策

- ・2 今年度は想定外のカフェテリアのエアコンの故障により、予算オーバーとなった。次年度は部分的にでもトイレをウォシュレットに取り替えていきたい。また理学療法士・作業療法士養成施設の指定規則の改正を受け、必要な備品を3ヵ年で計画的に整備する。

③特記事項

- ・2 全館の蛍光灯をLEDランプに交換する予定だが、具体化していない。

(3)教育活動（岩崎）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 理念、教育課程編成方針、卒業認定・称号授与の方針、等に沿った教育課程編成方針等が策定されているか	④	3	2
2. 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3. 学科等のカリキュラムは指定規則を踏まえ、体系的に編成されているか	④	3	2	1
4. 教育課程について、外部の意見を反映しているか	④	3	2	1
5. 実践的な職業教育(臨床実習、施設実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
6. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
7. 学校が主体となって実習指導者の教育の質を高め、一定の教育水準を担保する取組みが行われているか	④	3	2	1
8. 職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
10. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
11. 学生の子々な課題に対応するためのサポート体制の整備や、定期的な学生面談、必要に応じて個別指導などを実施しているか	④	3	2	1
12. 卒業認定・称号授与の方針に示す能力や特性を身につけた者を教育する要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
13. 関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するマネジメントが行われているか	④	3	2	1
14. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成や教職員の学生対応など、教職員の資質向上が行われているか	4	③	2	1
15. 教員が臨床能力を維持・発展させ、専門教育を行うための環境を整備できているか	4	③	2	1

①課題

14 教員の資質向上や教職員の学生対応など、学校全体の研修が必要であるが、コロナ禍のため十分に行えなかった。

・15 個人の努力によるところが大きく、引き続き環境整備に関する検討が必要。

②今後の改善方策

・14 学校全体の研修を新生活様式や感染状況をみながら計画的に進める。

・15 臨床能力を維持・発展させるための環境整備について、学校運営会議にて引き続き検討する。

### ③特記事項

- ・3 新指定規則(介護福祉士科)によるカリキュラムを作成し、申請、認可された。
- ・7 継続して臨床実習指導者講習会(理学療法士科・作業療法士科)、実習指導者会議(今年度介護福祉士科は中止)を行っている(一部、今年度中)。
- ・12 今年度はコロナ禍のため、介護福祉士科教員講習会が中止となったため、受講できていない。

### (4)学修成果 (増田)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 就職率に関する目標設定はあるか	④	3	2
2. 関連する企業等と共催で就職ガイダンスを行うなど、就職に関して関連企業等と連携しているか	④	3	2	1
3. 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
4. 退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
5. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

#### ①課題

- ・4 対応は講じているが数名の退学者が出ている。退学者は前年度より減少した。
- ・5 卒業生の評価や活躍している情報を在校生に周知し、学習意欲の向上に役立てる必要がある。

#### ②今後の改善方策

- ・5 卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を、臨床実習指導者会議、実習地訪問、アンケート等で情報収集できる仕組みを整える。

### ③特記事項

### (5)学生支援 (田住)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 進路就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
3. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
7. 保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
8. 卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1

9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
10. 高校,高等専修学校等との連携によるキャリア教育職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1
11. 学生自治会へのアドバイスや支援を行っているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

- ・1 対面並びにオンラインを活用した就職説明会を開催した。求人数の減少や地域ごとによる求人の偏りがみられるため、今後対策が必要となる。
- ・4 感染対策・健康管理に関する通知と周知、感染予防のための環境整備(自動検温器・自動水栓の設置など)を随時おこなっている。
- ・11 学生自治会の自治を損なわないように、会計や監査・予算決算方法など管理部門の手法を支援している。

(6)教育環境 (増田)

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
1. 施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
2. 学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
3. 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1
4. 学内における安全管理体制を整備し適切に運用しているか	④	3	2	1

①課題

- ・1 図書や備品の充実を図る必要がある。
- ・1 オンライン授業に備え、2階教室にLAN ケーブルを整備したが、引き続き備品をそろえる必要がある。
- ・3 備品の転倒防止などの安全管理が不十分である。
- ・3 避難訓練の消防署指導を計画していたが、今年度は中止となった。

②今後の改善方策

- ・1 オンライン授業に必要な備品を計画的に進める。
- ・3 避難訓練の消防署指導を計画する。

③特記事項

(7)学生の受入れ募集（竹井）

評価項目	適切…4 ほぼ適切3 やや不適切…2 適切…1			
	1. 学生募集は、適正に行われているか	4	③	2
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
3. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか	④	3	2	1
4. 上記の募集活動の結果、定員を満たしているか	4	3	②	1

①課題

- ・1 SNSを使った広報など、スマートフォンを活用した広報の取り組みが弱い。
- ・4 定員が埋まらない

②今後の改善方策

- ・1 動画投稿(You Tube など)に取り組む
- ・4 受験生・保護者の多彩なニーズにこたえられるよう、オープンキャンパスの内容を工夫する。こちらが伝えたいことではなく、受験生が知りたいことに応えられるオープンキャンパスとする。

③特記事項

- ・1 市民公開講座(年3回、コロナで2回中止となった)の開催し、知名度向上に努めた。
- ・3 コロナの影響で高校訪問が年度当初できなかつたので A4 サイズの「YMCA News」を作成し、毎月高校の進路あてに発送した。

(8)財務（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
2. 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
3. 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

①課題

- ・1 理学療法士科の入学者の定員を充足してきているが、作業療法士科および介護福祉士科は定員割れが続いており、財務基盤に不安定な部分もある。

②今後の改善方策

- ・1 中長期的な5カ年計画に基づき、運営を安定させていく。

③特記事項

(9)法令遵守（三谷）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
4. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

- ・3 自己点検評価で課題となっている項目の中には、直ぐに改善できないものがある。

②今後の改善方策

- ・3 できるものから関係する各種委員会などを通じ、改善策を検討する。

③特記事項

(10)社会貢献・地域貢献（田住）

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3, やや不適切…2 不適切…1			
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

- ・1 鳥取県理学療法士会・作業療法士会・介護福祉士会と連携し、研修や学会など共催も多く実施している。
- ・1 行政との連携による各種介護予防、徘徊見守り模擬訓練への参加、鳥大医学部との地域医療連携研修などを実施している。
- ・2 YMCA系のボランティアだけではなく、筋ジス協会、発達障がい児、認知症家族会、行政などの各団体と連携して様々なボランティアを紹介し多くの学生が参加している。
- ・3 市民向け公開講座を学内や市立図書館で年5回実施している(今年度は3回実施、2回中止)。その他、小学生向けの夏休みものづくり体験なども実施している。